

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公開番号】特開2010-227101(P2010-227101A)

【公開日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2010-101904(P2010-101904)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/14 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 P 31/20

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 31/14

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月1日 (2010.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の：

(a) 配列番号 1 3 を含む単離ポリヌクレオチド；

(b) 配列番号 5 を含む単離ポリヌクレオチド；並びに

(c) C R L 1 0 0 5 及び塩化ベンザルコニウム (B A K) を含む、アジュバント及びトランスフェクション促進剤であって該 C R L 1 0 0 5 及び B A K が、以下の：

0 . 3 m M B A K 及び 7 . 5 m g / m l C R L 1 0 0 5 、

0 . 3 m M B A K 及び 3 4 m g / m l C R L 1 0 0 5 、及び

0 . 3 m M B A K 及び 5 0 m g / m l C R L 1 0 0 5 、

から成る群から選ばれる濃度で存在する、

を含む組成物であって、前記 (a) のポリヌクレオチドは作用可能な状態でプロモーターに連結された D N A であり、かつ、前記 (b) のポリヌクレオチドも作用可能な状態でプロモーターに連結された D N A である前記組成物。

【請求項 2】

前記 (a) のポリヌクレオチドと前記 (b) のポリヌクレオチドは、単一のプラスミド

上に存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記 (a) のポリヌクレオチドと前記 (b) のポリヌクレオチドは、別々のプラスミド上に存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

H C M V ポリペプチド又はその免疫学的断片、変異体若しくは誘導体をコードする追加のポリヌクレオチド、あるいは失活ウイルス、減弱ウイルス、単離 H C M V ポリペプチドを発現するウイルスベクター、H C M V ウイルス蛋白質又はその免疫学的断片若しくは誘導体からの単離ポリペプチドから成る群から選ばれる慣用型のワクチン成分をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記追加のポリヌクレオチドが、前記 H C M V ポリペプチド又はその免疫学的断片、変異体若しくは誘導体をコードするコドン最適化型コード領域を含む、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記 H C M V ポリペプチドが、前初期 - 1 蛋白質 (I E - 1) である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

ヒトにおける C M V 感染の治療又は予防方法に使用するための、請求項 1 又は 4 に記載の組成物。

【請求項 8】

ヒトにおける C M V 感染の治療又は予防用医薬の製造における、請求項 1 又は 5 に記載の組成物の使用。